

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105180
法人名	(株) メディックス
事業所名	グループホーム すずらん
所在地	松山市高井町 1 2 9 6 - 1
自己評価作成日	平成21年6月19日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個々の思いや意見を大切にしながら、今までの生活スタイルをなるべく崩さないように支援しています。また、いつも利用者の方々、職員みんなの笑い声が聞こえてくるようなホームであるよう、日々頑張っております。  
最近新しいメンバー(シーズー犬のゆう太)が加わりました。みんなの心が癒されることを願っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、この一年間運営理念の一つである「利用者の人格と価値観の尊重」に、特に力を入れて取り組まれた。さらなる個別支援に向けて利用者の現在のことだけでなく、お若い頃の姿や大切にしていたこと等も、知り得るよう努力をされている。  
共用空間はきれいに掃除をされており、テーブルの一輪さしには季節のお花が生けられていた。事業所内の通所介護に通って来られる利用者の方用にも、スペースを作っておられた。犬を飼っておられ、利用者が頭を撫でている様子うかがえた。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 パートナーハウス すずらん

(ユニット名) もみじ

記入者(管理者)  
氏名 寺尾 洋子

評価完了日 平成21年 6 月 19 日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) < 運営理念 > ・ 利用者の人格と価値観の尊重 ・ 利用者の自己決定の尊重 ・ 安心と意欲もてる自立生活への支援 ・ 家族、地域社会との交流。と掲げ実践している	
			(外部評価) 事業所では、この一年間運営理念の一つである「利用者の人格と価値観の尊重」に、特に力を入れて取り組まれた。さらなる個別支援に向けて利用者の現在のことだけでなく、お若い頃の姿や大切にしていたこと等も、知り得るよう努力をされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 回覧板をまわしたり、散歩されている近所の方と会話をしたりと、交流を図っている。	
			(外部評価) 利用者は、地域の秋祭り等に参加し、楽しまれている。地区の溝掃除には、管理者が出席されている。利用者が気ままに外出をされた際、ご近所の方が居る場所を教えて下さったこともある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ・ 同系列(かとれあ、こすもす)と、3施設合同の納涼祭を開催している。また運営推進会議を通して実践している	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
			地域行事などへ参加させていただいたり、ボランティアに来ていただいたりしている。	
			(外部評価)	
			町内会長の方や民生委員の方も会議に出席されてお り、介護保険の仕組みや地域の介護施設について質問 をされたり、事業所が資料を準備して、「認知症につ いて」や「高齢者の食事管理について」等、ともに勉 強をされている。	今後、会議を活かして事業所がさらにケアの質を高め ていけるよう取り組まれてほしい。事業所で力を入れ て取り組んでいることを報告されたり、ケアの取り組 みを伝え、ご意見やアイデアをうかがってみてはど うだろうか。又、利用者やご家族等、サービスを利用 する側の方々の出席も増やしていかれてほしい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価)	
			公民館、支所などを通じ、地域にあるサービスや行事 などの助言等ももらっている。	
			(外部評価)	
			市社協主催の研修に参加され、知識を深めておられ る。市の担当者と、生活保護受給者の生活や医療のこ とについて相談しながら、支援されている。又、運営 推進会議時には、市の担当者から介護保険の説明や、 地域の介護施設の状況について説明をいただいた。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			ホームでの話し合い、勉強会への参加、マニュアル作 成等で身体拘束について理解している。	
			(外部評価)	
			調査訪問時、玄関は開放されており、利用者が出入り してられる様子が見えた。法人内の研修時等で 職員は、身体拘束をしないケアについて学んでおられ る。又、先輩職員は、新人職員に日々のケアの中で 「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」 について、正しく理解できるよう話をされている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			虐待防止の勉強会に参加し、ミーティング等にて情報共有を図るよう努めている。 マニュアル作成している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			・勉強会にできるだけ参加している。 ・成年後見制度を利用される方に対し関係者への連絡調整をおこなっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			利用者、家族が十分に納得できるまで個別に誠意をもって対応にあたっている。また不明な点等あれば、いつでも相談にのっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			意見箱の設置や、苦情等があれば、すぐに職員及び管理者が誠意をもって対応、対処するよう努めている。また、入所の際ホームの苦情相談窓口及び第三者機関相談窓口(松山市介護保険課など)の連絡先についても説明している。	
			(外部評価)	職員は、「笑顔」を心がけ、ご家族が訪れた際、過ごしやすい雰囲気作りに努めておられる。又、ご家族来訪時には、意見を出してもらえよう働きかけておられる。海外にお住まいのご家族にも電子メールを利用して、ご本人の日々の様子を写真等を添えて報告されている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			一方的ではなく、職員の意見に耳を傾け一緒に話し合い協力しあう姿勢で対応している。	
			(外部評価)	
			職員のアイデアで、共用空間の壁面の折り紙等の飾りを利用者とともに作成された。「車いすを利用されている方も外出の機会を増やせないか」という職員の意見を採り入れ、実践されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			勤務状況、実績などを把握し、経験に応じた研修の受講を積極的に行えるよう取り組んでいる。また、才能を発見し強化している。	
			(外部評価)	
			法人内外の研修会への参加や資料作成などで情報共有を図り、能力向上に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人内外の研修会への参加や資料作成などで情報共有を図り、能力向上に努めている。	
			(外部評価)	
			他のグループホームへの定期的な勉強会や交流会、同系列の(かとれあ・こすもす)等との行事を交えた交流会などを行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他のグループホームへの定期的な勉強会や交流会、同系列の(かとれあ・こすもす)等との行事を交えた交流会などを行っている。	
			(外部評価)	
			他のグループホームへの定期的な勉強会や交流会、同系列の(かとれあ・こすもす)等との行事を交えた交流会などを行っている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			できる限り話をする機会を設けて、気持ちを受けとめる様努力している。	
			(外部評価)	
			できる限り話をする機会を設けて、気持ちを受けとめる様努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) いつでも相談しやすい雰囲気をつくり、相手の気持ちをくみ取りながら一緒になって取り組んでいく努力をしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者本人と家族の希望、要望をふまえた上でどのようなケアプランが必要なのか話し合うようにしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者が得意としている分野について話しをしながら一緒に実施することで、職員は学んだり、アドバイスを受けたりしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人の状態についての情報を共有し、行事や来所時等に話しをするなど、本人への支援方法などについて話し合っている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 自由な面会時間や気楽に尋ねてきやすい雰囲気作りに配慮している。 (外部評価) ご本人のお誕生日には、ご家族がお花を持ってお祝に来られる方もいる。又、ご自宅の様子を見に行かれた際に、ご近所の方とおしゃべりをされることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ホールにて同じテーブルに座る人の位置を配慮したり、いろんな話題を提供するなど、声かけをおこなっている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ・退居された後でもいつでも遊びに来れるような雰囲気を作っている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意思疎通が図れる場合は、本人、家族と話し合い意見を尊重している。意思疎通が困難な方は、何を求めているかを察知できるよう、職員同士話し合い等行い日々努力している。 (外部評価) 入居時、利用者個々について情報を収集されている。	事業所は、利用者一人ひとりについて個別のケアをすすめておられる。この機会に全職員で利用者一人ひとりについて話し合い、アセスメントの充実に取り組み、その人らしい暮らしを続けるための支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居の際、家族または本人に情報を得ている。また意思疎通が難しく、家族のいない方の場合、入居前の施設等から情報を得ている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員全員が把握し状況に応じて対応にあたっている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			個々人の状況に応じ、本人及び家族と話し合い計画を作成するよう努めている。来訪時には、近況と共に家族へケア内容等の説明を行っている。	
			(外部評価)	
			ご家族の希望等も聞き取り、介護計画を作成されている。	さらに、利用者個々がより良く暮らすため、アイデアの豊富なその人らしい介護計画の作成に取り組みしてほしい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			毎日介護記録を記入し、情報を共有している。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人、家族の要望に対して、その都度柔軟な対応を行っている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			避難訓練、理美容、地域行事の参加、移動図書館の利用、地域のボランティアなど、積極的に参加している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人及び、家族の希望する医療機関へ適時受診できる よう支援している。	
			(外部評価)	
			ご本人やご家族の希望等も聞き、医師とも相談して訪 問りハビリ等を受けるようになった事例がある。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			個々に応じて看護職員に相談、協力しながら対応にあ たっている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院された際、定期的に面会を行い洗濯物等の交換を 行い、ドクターあるいは、看護師と情報交換を行い早 期退院等に努めている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			必要に応じ、終末期については家族や医療機関また職 員等で話し合っている。	
			(外部評価)	
			他事業所主催の「看取りを考える」フォーラム等にも 参加され、看取りについての考え方等を学ばれた。事 業所でも、職員間で話し合いを繰り返し、医師と相談 しながら看取りを支援された事例がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			ほとんどの職員は応急手当の講習をうけており、また急変時対応マニュアルを作成している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			避難訓練の実施、運営推進会議による町内会との連携体制等、日頃から働きかけを行っている。	
			(外部評価)	
			安全面を考慮して、近日中に台所のガス台をIH（電磁調理器）に取り換えることになっている。昨年7月の避難訓練では火災を想定し、夜間職員1名で利用者9名を避難誘導する訓練をされた。	今年11月には消防署の協力を得て、地域の方達とともに避難訓練を行うことを予定されている。又、避難経路の段差の解消についても、すすめていきたいと考えておられた。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			記録等の個人情報は事務所の鍵付きの棚で保管しており、職員による個人情報の秘密保持も徹底している。入居者への言葉かけも相手の立場に立った気持ちで対応するよう心がけている。	
			(外部評価)	
			職員の利用者に対する言葉かけや対応について、管理者は、気になる場面ごとに注意を促すようにされている。職員は、利用者の思っていることを否定せず、ゆっくりとお話を聞かれたり、利用者のその時の要望に合わせて行動されている様子うかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			ゆっくりとしたペースでお話を傾聴し、本人の意向を取り入れていくようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	無理強いせず、その時その時の、その方のペースに合わせて支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	本人、家族の希望にて、理美容(カット、髭剃り等)美容師に訪問してもらい実施している。洋服など本人の好みに合わせて、一緒に購入するようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	一緒にできる事は、無理強いせずお手伝いをさせていただいている。	
			(外部評価)	時間をかけて食事をされている方にも、職員は焦らすことなく支援されていた。利用者の状態に応じて食材の形態も変えておられた。事業所の食事は、現在は、食材が業者から届くようになっており、職員が調理や配膳をするようになってきている。利用者の中には下膳をされている方がうかがえた。	さらに、「食事を楽しむ」という点から、職員の利用者へのかかわり方等も工夫されてみてはどうだろうか。例えば、メニュー等食事の内容や食材について説明をされる等、この機会に利用者個々が食事をさらに楽しめるようなアイデアを職員で出し合ってみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	一人ひとりの食事量、水分量の把握に努めている。バランス良く栄養摂取できるよう、食事の形態、量について常に検討し、必要に応じ主治医の意見を聞いている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	夜間は確実に実施できているが、毎食はできていないこともある。食物残渣はないか、また服薬後の確認等はおこなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
			個人に合わせ、プライバシーを配慮しながら排泄パターンを把握し対応している。		
			(外部評価)		
			利用者ご本人からの排泄のサインを捉えて、トイレに誘導されたり、記録からパターンを知り、時間で誘導されている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
			毎日の食事になるべく多くの野菜を取り入れる。1日1000～1500の水分補給を促す。看護師による腹部マッサージを実施している。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
			無理強いせず、本人の希望を聞きながら入浴していただいているが、最低週2回以上は入っていただくよう支援している。		
			(外部評価)		
			現在、入浴を好まない方が多くおられ、自然と浴室に足を運び入浴できるよう職員が誘導されたり、居室に「お風呂に入りましょう」と書いた紙と「準備するもの」を貼っておられた方もあった。季節に応じて、菖蒲湯等を楽しまれている。道後の温泉に入りに行ったこともある。	入浴を楽しむという点から、利用者個々がお風呂でつるぐことができるような工夫や配慮について、職員で話し合ってみてはどうだろうか。利用者一人ひとりのこれまでの習慣や好み、大切にされていること等も探り、支援につなげていかれてほしい。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望により、休んでもらうようにしている。また、夜もテレビをみたりと個人のペースでしてもらっている。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの現在使われている薬を分かるように記載している。また薬の効能書きをファイルにとじ副作用等が分かるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居者同士が楽しく会話できるよう環境づくりをしたり、散歩をしたり、おりがみ、壁画作成または、カラオケなどをしていただいている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候がよく体調のよい時は、個別に散歩、外気浴ができるよう努めている。また月に1度はユニットごとに外出計画をたて、いろいろな場所へ出かけている。	
			(外部評価) 日々の散歩や買い物に出かけられたり、季節のお花を見に行かれたり、ユニット毎に予定を立てて、しなみ等に遠出をされることもある。	今後、事業所では、利用者一人ひとりの行きたい場所や会いたい人等を探り、1日又は半日、職員とマンツーマンで出かけるような取り組みをすすめたいと考えておられた。ご本人の思いに沿った支援をすすめていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在 ご自分でお金を管理している方は、1名いらっしゃいます。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人希望時、電話をかけてもらったり、家族、友人からの電話は引き継ぎを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				共有空間はすべて家庭的な雰囲気であり、また常に季節の草花を生けるなどしている。
			(外部評価)	
			共用空間はきれいに掃除をされており、テーブルの輪ざしには季節のお花が生けられていた。事業所内の通所介護に通って来られる利用者の方用にも、スペースを作っておられた。犬を飼っておられ、利用者が頭を撫でている様子がかがえた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
				ソファを置き、くつろげる空間を確保している。
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				個々人によって生活用品を持ち込まれている方、持込みのない方がいらっしゃいます。御本人・御家族様の希望に沿って工夫している。
			(外部評価)	
			テーブルやイス等、これまで使っておられた物を持ち込んでおられる方もあり、お部屋で書き物をされたり、外を眺めておられる方もあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
				すべてがバリアフリーになっており、車イスの方でも自由に活動できるようになっている。また、トイレや居室など場所が混乱しないよう目印をつけるなどの工夫をしている。